

意見交換テーマ「公共交通の在り方について」

11 住み続けられるまちづくりを



SDGs|目標11 住み続けられるまちづくりを

11.2 2030 年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

11.7 2030 年までに、女性、子ども、障害者及び高齢者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。

現 状

～ 将来的な高齢化の進展及び免許返納者の増加 ～

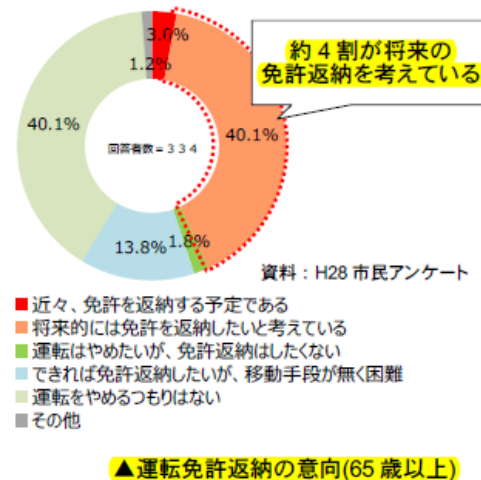
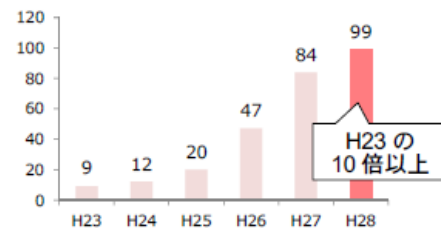
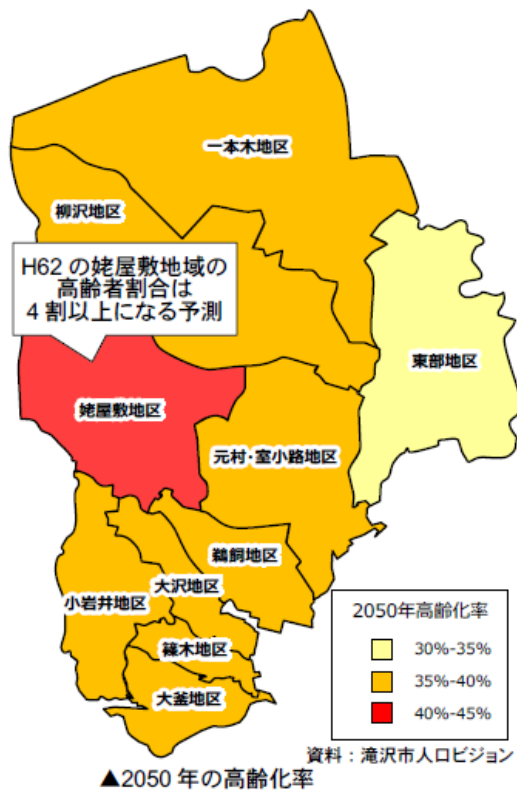
- ・社会情勢として少子高齢化が課題となっている中、現時点の本市においては少子化・高齢化の傾向は緩やかであるものの、将来的には総人口の 3 割以上が高齢者 65 歳以上となる予測であり、地域別では姥屋敷地域において 4 割以上が高齢化する予測となっている。
- ・高齢化と併せて、免許を返納する高齢者が増加しており、本市においては過去 5 年間で 9 倍以上に増加している。平成 29 年 3 月には道路交通法が改正され、75 歳以上の免許更新時には認知機能検査が必須となり、今後更に免許返納者数は増加するものと想定される。

課 題

1 高齢者及び免許返納者への対応

- ・高齢化の進行により通院等の移動需要が増加する中で、バス停まで歩くことが困難な方や自由な移動が制限され外出を控える方の発生が想定され、健康面での影響が懸念される。
- ・本市においては、福祉輸送やタクシーチケット等の交通施策を実施しているが、車椅子利用者や障害者等に対象は限られ、そうした対象に含まれない高齢者層への対応が課題となっている。
- ・免許返納者の増加等を含め、自由な移動が制限される方が増加見込みにある中で、高齢者の外出支援、健康増進に向けた取り組みの検討が課題となっている。

⇒すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。(SDGs 11.2)



出典 滝沢市『滝沢市地域公共交通網形成計画』H29.09 P.24～25 より抜粋

課題

2 交通事業者の運転士不足

- ・公共交通を取り巻く環境の中で最も重大な問題であると考えているのが交通事業者の運転士不足である。岩手県の地域公共交通網形成計画においても、課題として交通事業者の運転士不足が挙げられている。

⇒人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する必要がある。(SDGs 11.7)

<バス運転士の状況>

岩手県内のバス事業者3社（岩手県交通㈱、岩手県北自動車㈱、ジェイアールバス東北㈱）における運転士の雇用状況については、減少傾向にあり、平成26年度（2014年度）では905人の運転士雇用者数が平成30年度（2018年度）では900人を割り込み868人となっている。また、十分な新規採用数を確保できず、再雇用者に頼らざるを得ない状況が続いている。雇用者数のうち再雇用者の占める割合は年々増加しており、平成30年度（2018年度）では約2割を再雇用者が占めている状況となっている。

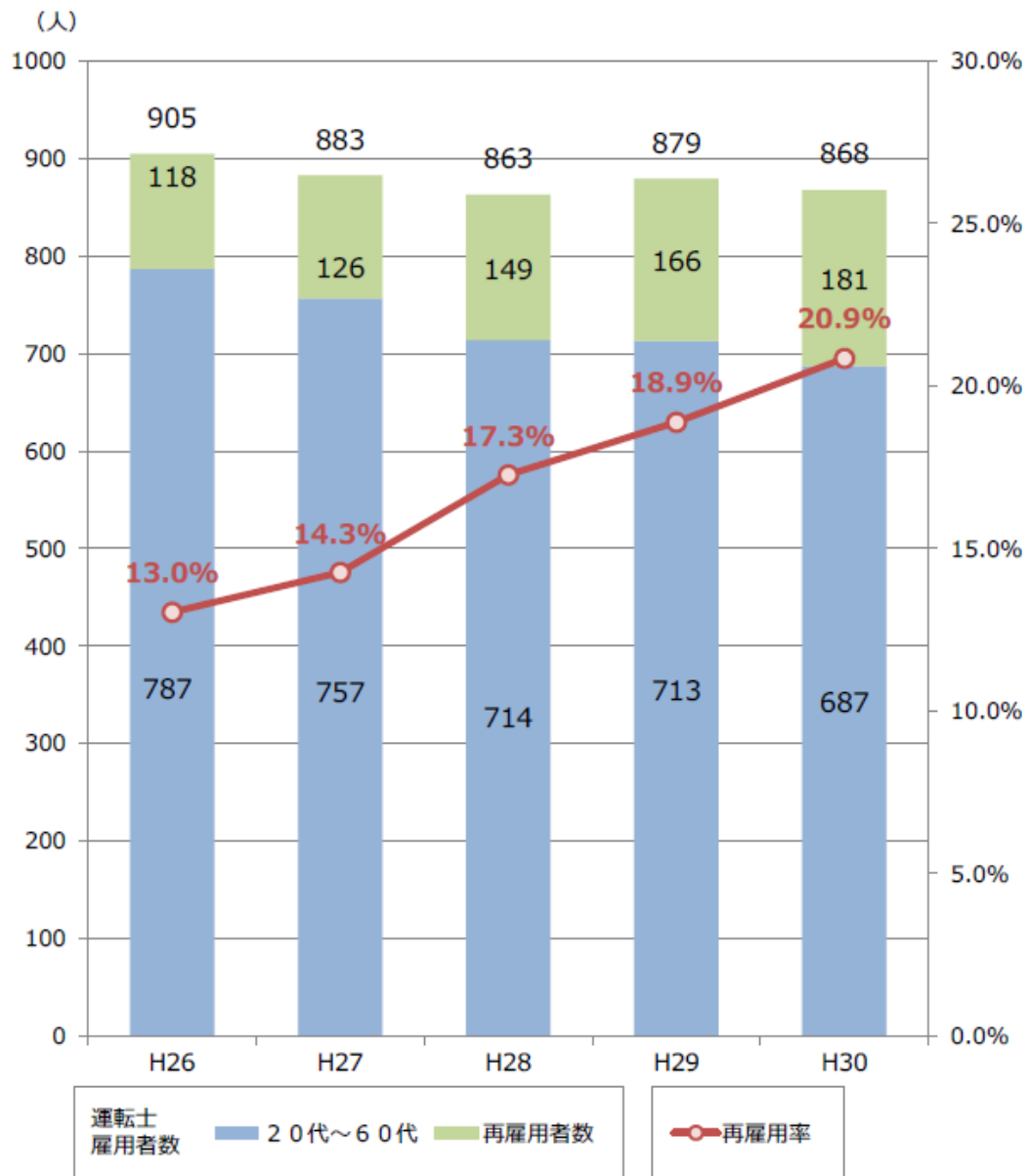


図4-10 運転士の雇用者数及び再雇用者の占める割合の推移

資料：岩手県交通、岩手県北自動車、ジェイアールバス東北提供資料

※運転士の雇用者数は岩手県交通、岩手県北自動車、ジェイアールバス東北の合計

出典 岩手県『岩手県地域公共交通網形成計画』H31.03 P.61

路線バスや自治体のコミュニティバスの廃止や減便の理由は、収支の問題のみならずバス事業者の運転士不足が挙げられている。また、バス事業者にとって収益のあがる路線であっても運転士不足によりやむなく廃止や減便を行うこともあることから運転士不足の深刻化がよくわかる。

交通弱者の問題や路線バスの再編を自治体が検討したとしても運転士不足により交通事業者から対応できないと言われてしまえば何もすることができない。

これらのことから、滝沢市では交通事業者の運転士不足を重大な問題と捉えており、運転士確保を支援すべくバス運転士のPRポスター及びチラシを今年度作成している。これらのポスター及びチラシは、公共交通利用促進イベント「たきざわバスまつり」内のバス運転士PRブースに設置したほか、滝沢市内の各所に掲示している。

I ♥ BUS. I ♥ IWATE.
一緒に地域を支える仕事をしてみませんか

BUS DRIVERS
岩手を支えるライフライン

JR BUS TOHOKU
IWATE KENPOKU BUS
IWATE KENKOTSU

ENTRY》

各社募集説明会
イベント等の
開催情報は **こちら!**



ジェイアルバス東北
総務部 採用担当
TEL:022-353-9841



岩手県北バス
総務部 採用担当
TEL:019-641-7772



岩手県交通
総務部 人事労務課
TEL:019-604-1595

滝沢市は、バス運転士を応援しています。
発行元：滝沢市 都市整備部 都市政策課



課題 1	地域公共交通の負のスパイラルによる利用者の少ない路線・便の増加
【現状】	
<p>◆公共交通利用者が減少し続ける「負のスパイラル化」が慢性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化の進行、自動車の普及に伴い公共交通利用者が減少し、運賃収入が減少することによる不採算路線の増加・撤退によりサービス水準が低下、さらに利用者の減少を招くといった「負のスパイラル化」が慢性化している。 <p>◆交通事業者は運転士不足が深刻化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事業者は運転士の高齢化が深刻化している。また、少子化により生産年齢人口も減少していることから退職者を補うだけの運転士を確保することが厳しくなっており、運転士不足が深刻化している。 <p>◆観光需要は相当数維持される見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界遺産である「平泉の文化遺産」、「明治日本の産業革命遺産（橋野鉄鉱山）」等の観光地への誘客の取組や、ラグビーワールドカップ 2019TM 釜石開催などにより、岩手県を訪れる観光需要は相当数維持されると見込まれる。 ・ また、岩手県を訪れる外国人観光客の増加も見込まれ、公共交通需要も高まっている。 	
【課題】	
<p>◆利用者が少ない路線・便が増加し、維持が困難な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一定の輸送量・運行回数を有し、複数市町村を運行する広域バス路線は、国や県、市町村が補助を行うことで運行を維持している。 ・ しかしながら、負のスパイラル化により利用者の減少に歯止めがかからないため、補助要件を満たさない路線・便が増加し、維持が困難な状況にある。 <p>◆運転士不足による路線撤退の恐れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転士不足により、路線を現状維持できる人的資源が不足しており、路線撤退の恐れがある。 <p>◆バス路線の観光客の利用が不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地への交通手段において、乗合バスを利用する観光客は全体のわずか 1%未満に過ぎず、観光客の需要を十分に取り込めていない状況にある。 ・ 小岩井農場や繋・鶯宿温泉などの観光地につながる路線が存在しているが、観光客の利用が不十分であり、利用を喚起する必要がある。 	
【課題解決に向けた方向性】	
<p>◆利用者が少なく維持が困難な路線の代替交通の確保を含めた見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が少なく維持が困難な路線については、需要に見合った広域バス路線へと見直すことで路線の維持を図っていく。または、見直しに伴う代替交通の確保を図る。 <p>◆日常的な利用促進と利用を促す意識醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者減少に歯止めをかけるため、通勤・通学、通院、買物など日常的に公共交通を利用してもらうための意識醸成を図る。 ・ 併せて、公共交通を何度も利用したくなるよう、利用しやすい環境整備を行う。 <p>◆運転士の確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転士不足解消に向け、運転士を新たに確保するための対策・支援を行う。 ・ また、将来的に持続可能な公共交通ネットワークの構築を図る中で、運転士の再配置を行う。 <p>◆観光による公共交通の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人を含む観光客の需要を把握し、観光を活用した公共交通の利用促進策を展開する。 	